

# 学食にフランス料理店

## 筑波学院大

筑波学院大学（つくば市吾妻、大島慎子学長）の学生食堂に地域の老舗フランス料理店が出店し、安価で本格的な料理を提供して学生らに好評だ。同市で1978年に開業し、約39年営業しているフランス家庭料理店「カフェ・ド・グルマン」。同大によると、1日約80食ほどだった旧学食と比較し、来店者は約2〜3割増えているという。

キャンパスへの移転は、今年3月28日に同大のそば客として旧店舗に来店した。大島学長が内田十九二オーナーシェフ（69）と知り合いになったことが縁で実現。食業者として契約し、家賃



筑波学院大内の学生食堂にオープンしたフランス家庭料理「カフェ・ド・グルマン」でランチを食べる学生ら（つくば市吾妻）

## 地元の老舗 手作りの味 安価に

はなし。光熱費を支払う形で営業している。

昼食はA、B、Cランチ（各450円）、カレー（400円）、パスタ（380円）を用意。一般客も入ることができ、それぞれ学生料金から100円高い値段になる。昼食時はランチメニュー以外の料理も注文可能。経営情報学部3年の篠原亨さん（20）は「カレーは肉がやわらかくておいしい。量も多くて大満足。ランチではスベアリアが出たりして料理のクオリティーが高い」と絶賛する。

大島学長は「グルマンの使う食材は地産地消、全て手作り。いつか学生食堂をこういう形にしたいと思っていた。地域の人が集まるキャンパスにしたい」と期待。内田オーナーシェフは「おいしい料理を提供すれば人は集まる。この場所を一つのコミュニティとして盛り上げたい」と意気込みを語った。営業はランチが午前11時から午後2時（ラストオーダー）、ディナーが午後5時半から同8時（同）。（高阿田絵司）